

令和2年度 兵庫県 うちエコ診断実施結果



特徴として…

- 診断受診者の約9割以上が補助金の要件として受診している。
- 補助金の要件として、太陽光発電システム、家庭用蓄電池、冷蔵庫などが対象となっている。なお、診断後のCO₂推定削減量は全国平均を上回っている。

ひょうご環境創造協会では、
兵庫県全体の分析データだけでなく
県下各市町のデータを提供することも
可能ですのでご相談ください。
(ただし、データ提供には一定数上のデータが必要です。)
最後のページをご覧ください。



実施世帯数とCO₂削減効果

令和2年度診断実施世帯数：845世帯

CO₂推定排出量と削減効果

事後調査回答世帯数：590世帯

(アンケート回収率70%)

受診約3ヵ月後の事後調査結果

診断時に提案した項目に対し実行の有無を調査

実施時CO₂推定排出量：5,271kg-CO₂/年・世帯

事後調査時推定排出量：3,718kg-CO₂/年・世帯

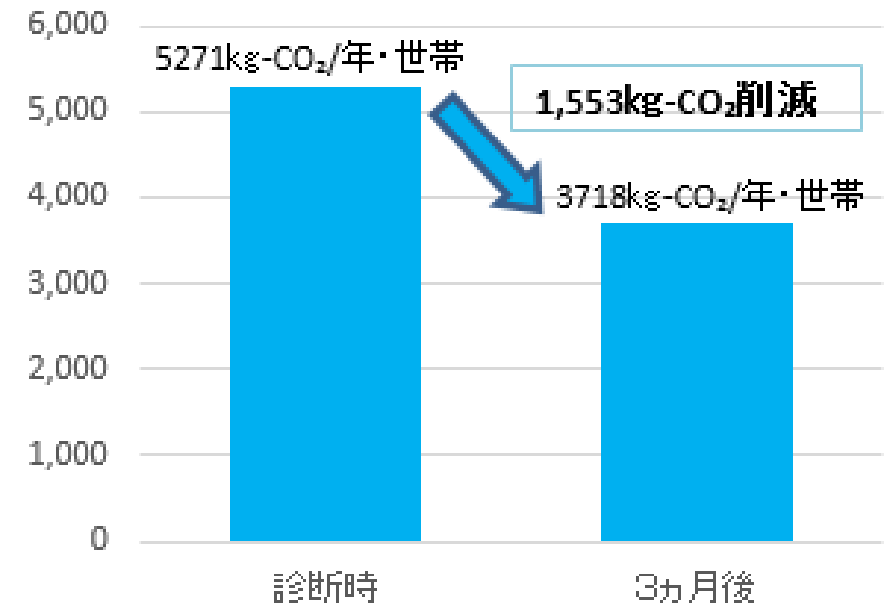
(削減率29%)

診断実施件数

	診断実施件数	事後調査票回答数	事後調査票回答率
平成27年度	691	411	59%
平成28年度	823	523	64%
平成29年度	1,262	869	69%
平成30年度	2,304	1,535	67%
平成31年度	1,026	673	66%
令和2年度	845	590	70%

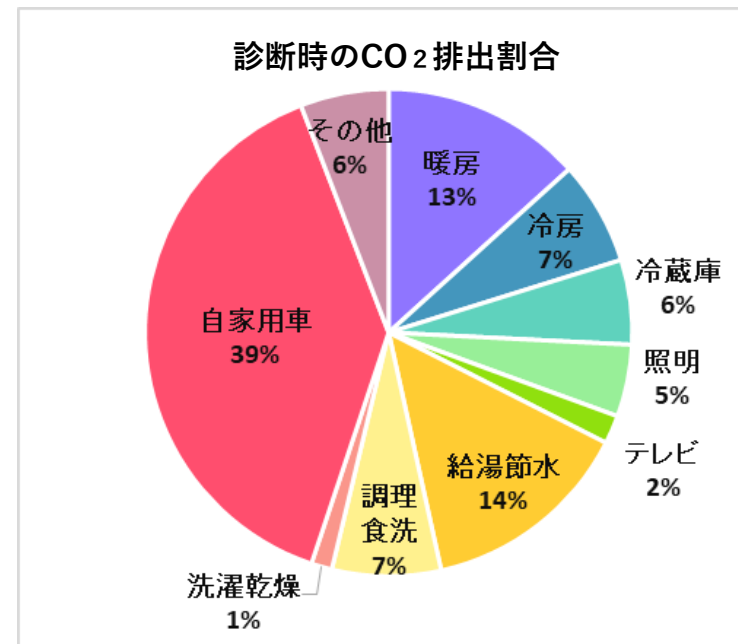
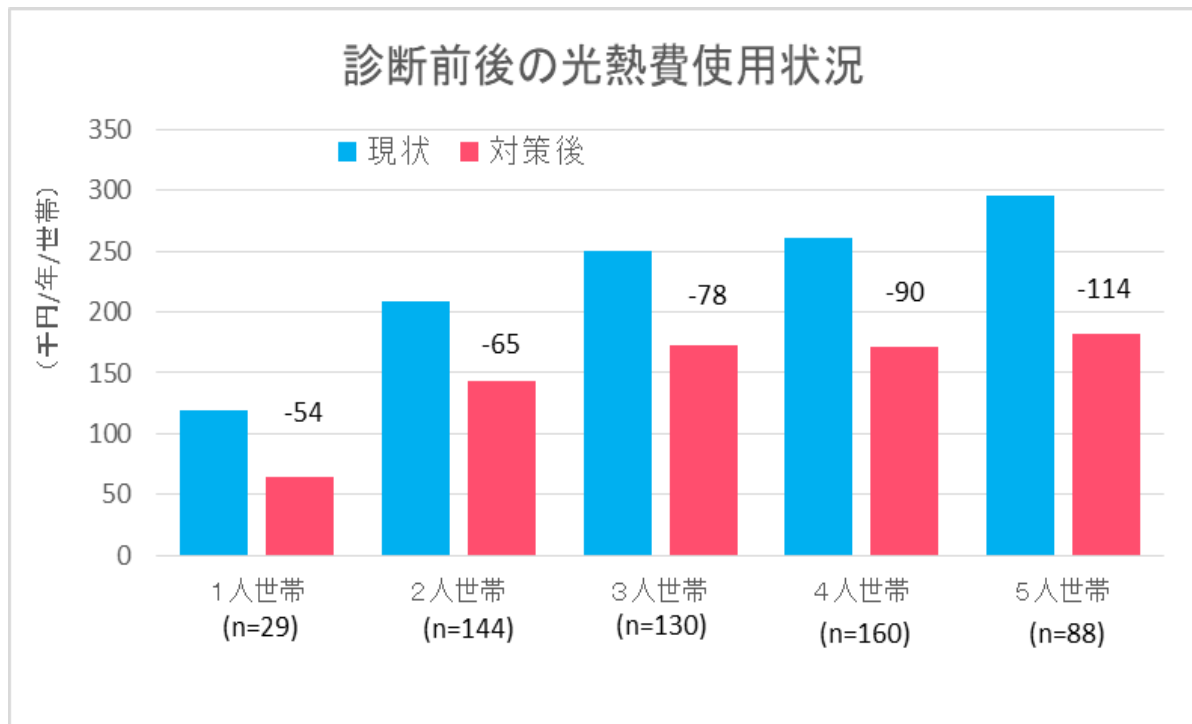
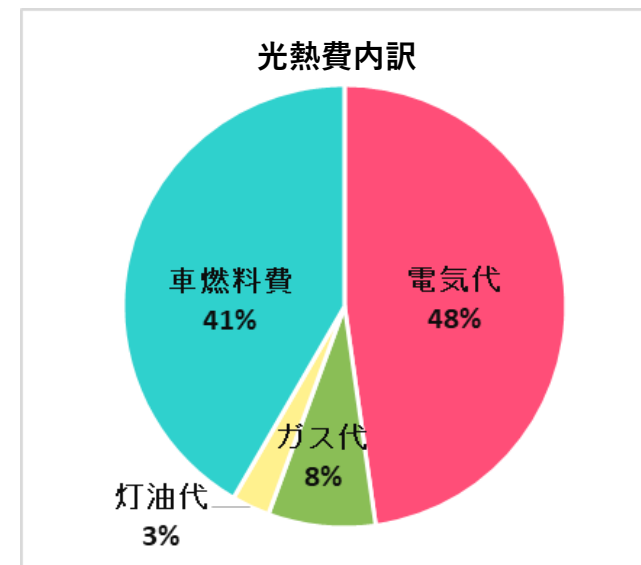
(kg-CO₂/年・世帯)

CO₂削減効果



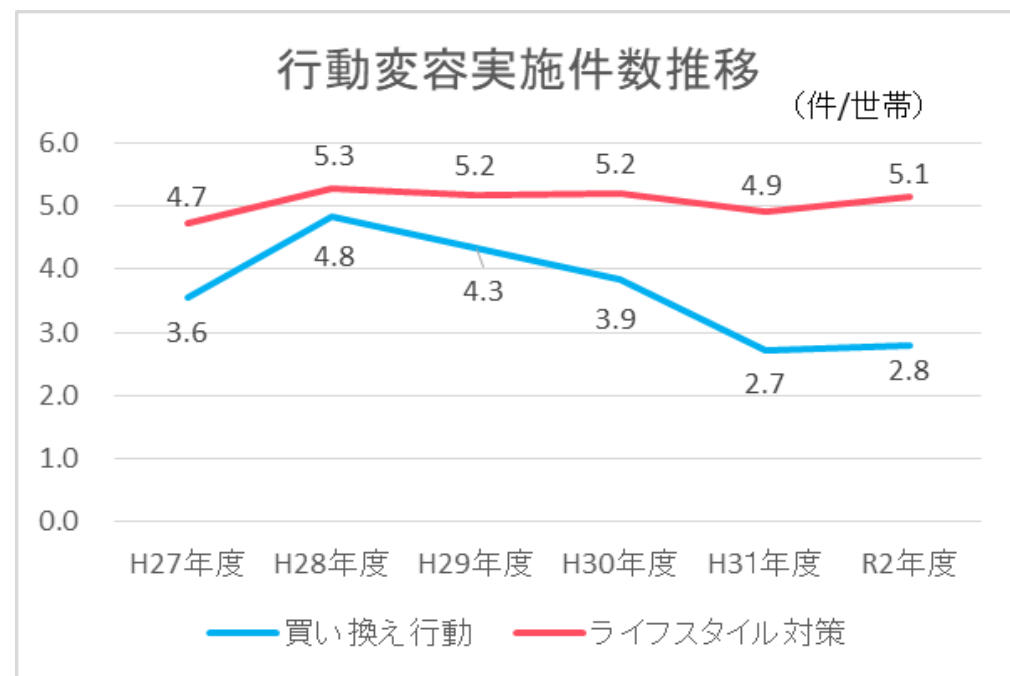
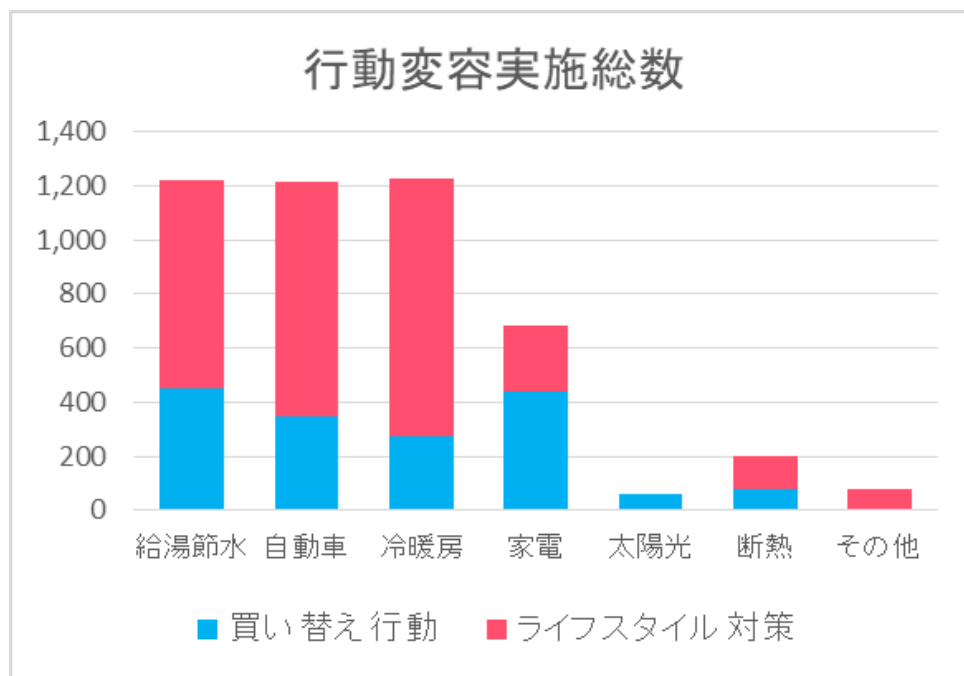
光熱費

世帯別の診断後光熱費は、5人世帯で最も削減効果があった。受診世帯全体の平均月額光熱費は、電気代13,190円、ガス代2,165円、灯油代764円、車燃料代11,500円となり、合計27,620円となった。



うちエコ診断受診後の行動変容

- ・ライフスタイル対策：冷房温度設定を上げる、車の使用頻度を控えるなど
- ・買替え行動：新しい冷蔵庫に買い替える、太陽光パネルを設置するなど
- ・給湯、自動車、冷暖房分野で行動した割合が大きい。
- ・買い替え行動よりもライフスタイル対策の方が実施している件数が多い傾向にある。

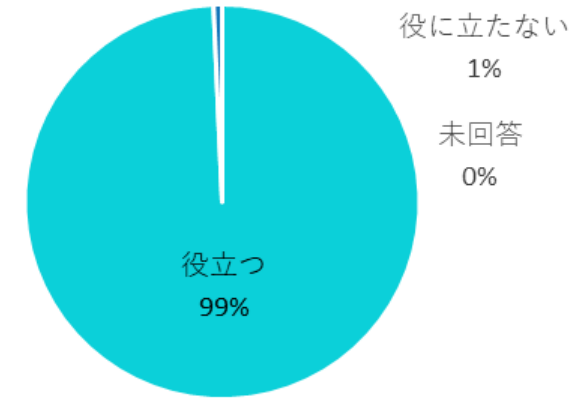


うちエコ診断受診者の声

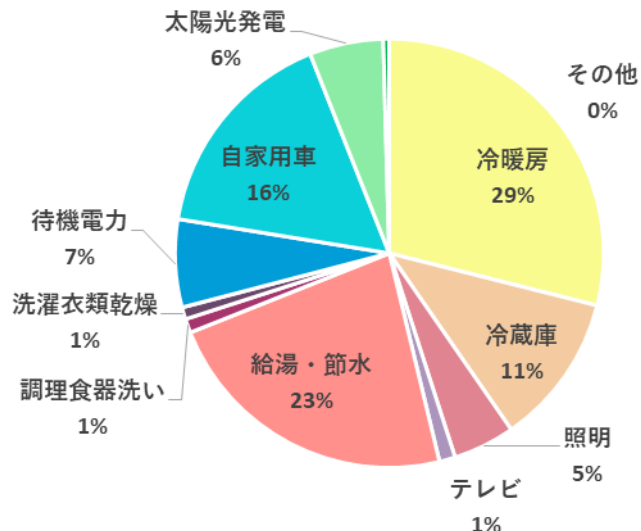


○診断の際、現状をよく聞いていただき、きめ細やかな内容のソフトを使って計算しながら進めていったのでよく理解できました。
○オール電化住宅であることを考えて、エコの観点では一定の関心を持って設備投資をしてきましたが、それが具体的にどの程度効果がでているのか知ることができてよかった。Zoomによるオンライン診断でしたが、説明に使用したアプリケーション、診断士の説明、ともに理解しやすく、会話も特に問題ありませんでした。

ご家庭での省エネに役立ちますか？



どの分野に関心を持ちましたか？



○普段から気になっていた箇所について具体的にアドバイスをいただくことができました。また、事前アンケートで家電製品の使用期間について調べ、冷蔵庫が20年もたっていたことを認識でき、買い替えのアドバイス(年間電気代を目安に選ぶ等)もお伺いできました。エコ機器への取換えによりCO₂削減と経済的効果が同時に達成できることを知って大変良かったです。
○コスパの良い設備を考えていたら、結局エコになったことがストレスフリーで良いことと思えた。エコのために快適な生活を我慢することは努力が必要であるが、電気代が安くなる、照明が明るくなるなど生活の向上につながるエコならやろうという気持ちになる。

【参考】 市町への提供データ例

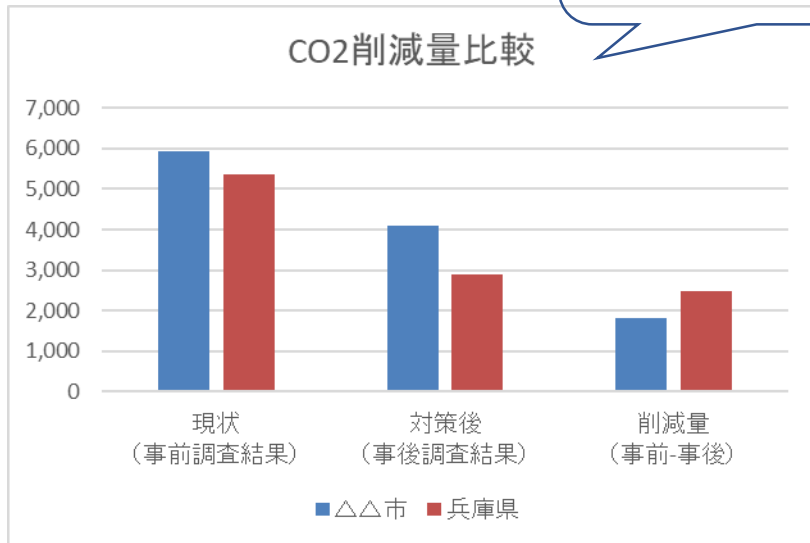
1年間の診断受診件数を提示

診断実施件数

	診断実施件数	事後調査票回答数	事後調査票回答率
兵庫県	2,304	1,411	61%
△△市	87	62	71%

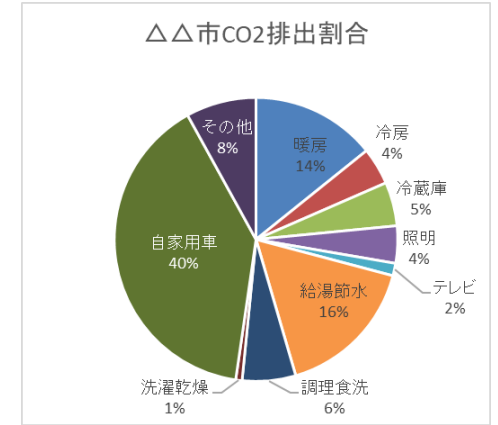
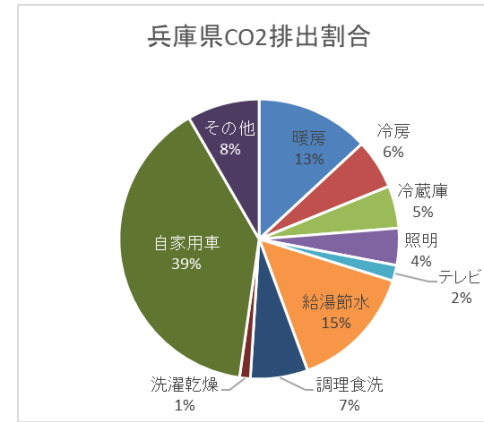
診断後のCO₂削減量比較

診断を受診した世帯のCO₂削減量を比較



CO₂排出量割合内訳比較

CO₂排出割合の内訳から市町の特徴を分析



光熱費比較

世帯別（表は2人世帯）の電気代、ガス代、灯油代、車燃料費内訳を比較

